

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 県立学校AED整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校安全課 学校安全係 電話番号：058-272-1111 (内 3145)

E-mail：c17770@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,228 千円 (前年度予算額：4,191 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,191	0	0	0	0	0	0	0	4,191
要求額	2,228	0	0	0	0	0	0	0	2,228
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

心肺停止の救急救命の観点から、子どもの命を守るため、すべての県立高等学校、県立特別支援学校及び県有教育施設にAEDの設置が必要である。

(2) 事業内容

<設置内容> AED故障時における修理、電池等消耗品の交換、小児用パッド(高等学校を除く)を含めた賃貸借契約

<設置期間> 令和2年4月1日～令和7年3月31日
(長期継続契約設定)

<設置箇所> 県立高等学校 …74箇所
 県立特別支援学校 …23箇所
 岐阜県総合教育センター …1箇所
 計 98箇所

<設置台数> 98台

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10 / 10
- ・ 県有施設における安全対策であるため県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料及び 賃借料	2,228	A E D 賃借料
合計	2,228	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり
目標27 子どもたちの安全・安心の確保と危機管理体制の充実

(2) 設置に関する指針

- ・ 県の「県有施設における自動体外式除細動器（A E D）の設置及び管理の基準に関する要綱」に基づき設置している。
- ・ 本県では、現在、全県立学校に各1台以上のA E Dを設置している。学校の実情に応じて、複数台の設置が必要な場合がある。

(3) 後年度の財政負担

- 5 箇年リース契約のため、継続的な財政負担が必要

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 心肺停止の救急救命の観点から、子どもの命を守るため、AEDを全ての県立高等学校、県立特別支援学校及び県有教育施設に設置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
教育委員会所管施設 AEDリース台数	0台 (H16)	92台 (H29)	92台 (H30)	92台 (R1)	98台 (R3)	100%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 令和2年2月5日付けで締結したAED賃貸借契約（5年間の長期継続契約設定済み）に従い、県立学校をはじめとする教育施設にAEDを設置し、毎月賃貸借料を支払う。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 AEDを設置することで、心肺停止となった人が現れても救命措置が可能な状態にしている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	平成16年7月から各県事務所、県内施設16箇所にAEDを設置。 平成18年5月1日までに、当時教育委員会が所管する全施設に設置。 今後学校の新設があれば、新たにAEDを整備する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	学校等で心肺停止を起こした者が現れた場合に備え、救命措置が可能な体勢を整えることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	リース契約のため技術革新に対応できるようにしている。また、パッド等の消耗品交換といったアフターサービスについても契約内容に含めており、問題なく動作するようにしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 定期的な機器の動作確認、教職員・児童生徒に対するAED使用方法の周知。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 常にAEDが使用可能な状態にあるよう、定期的に動作確認をする。また、児童生徒・教職員に対してAEDの使用方法が周知されるよう、県立学校にはたらきかける。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	